



情報誌

FAR

45 号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

千年の都、古都京都とは

会長 山田勝彦



自宅近くに京都の有名な観光地嵐山があります。天気の良い日には時々散歩に出かけますが、今は4月上旬でもあり桜花爛漫、素晴らしい景観です。

その後、FAR 会の皆様お元気でお過ごしでしょうか。

小生は京都に生まれ京都で育ち、今も京都の西端にある松尾大社の近くのマンションで生活しています。生まれたのは京都御所に近く、近くには鴨川が流れています。そのため小さな頃はよく鴨川に遊びに行ったものですが、あるとき川に流され溺れそうになったことがあり、以後川に行くことは禁止されてしまいました。

京都は結構、地下水が豊富で少し掘れば湧水が豊富に得られ、そのまま飲料することもできます。ですから各家庭には必ず「井戸」があって、夏には西瓜やお酒を冷やしたりしている家庭が沢山ありました。昔から人間は飲料水なしでは生活できないわけですから、この意味では京都は好適な生活環境にあったのだと思います。ですから良質の水のお蔭で酒造りも盛んで、有名な醸造会社が沢山あり「伏見のお酒」は全国的にも有名です。このように京都では地下水が豊富に得られ、ちょうど水盤の上で人々は生活をしているようなこととなり、水道のない古き時代にも人々は飲料水に困らず、豊かに過ごせたのだと思います。

京都の土地は北から南の方向にゆるやかに傾斜していて、京都の北端にある京都御所と京都の南端にある東寺の塔の先端とが同じくらいの高さと言われています。ですから自転車で走ると南に進むのは大変に楽ですが、この逆方向には少し苦勞をします。

鴨川が京都の東側を流れているのと対照的に西側には桂川が流れています。桂川はその源流が丹波高原にあり、源流から京都市とは反対方向の北向きに流れますと由良川となり日本海へと注ぎます。日本海では漁業が盛んで美味しい魚が豊富に捕れ、毎年夏にはこのお魚を食べるのを楽しみにして訪れています。

丹波高原から南に流れた川は桂川となり、私が永年住みなれた亀岡を通過して、京都の北部から流れてきた清滝川と合流して、京都の観光地として有名な嵐山へと注ぎます。嵐山に出る前には「保津峡」という景勝地を通りますが、この「保津峡」を観光するために亀岡から「保津峡下り」という観光船が出ていて、嵐山までおよそ2時間ほどかかりますが、それは素晴らしい景観です。とくに春の桜、秋の「もみじ」の眺めは素晴らしいものがあります。

桂川はやがて京都の南端で鴨川と合流して淀川となり、大阪湾へと注ぎます。

このように京都という土地は水脈に恵まれ、永年の都として栄えてきました。でも今はどこに行っても水は利用できますし、水の都「京都」の存在感はなくなりました。

内 容

1. ごあいさつ 会 長 山田勝彦
2. 2016 年 秋の FAR 会案内 代表幹事 石井 勉
3. 27 年度事業報告
4. 28 年度事業計画
5. 会からのお知らせ
6. JSRT 情報
7. ご当地自慢「ご当地自慢
(と言いながら自分自慢や我が家自慢も)」
宇部市 上田克彦
8. 編集の小窓

でも永い歴史の中で「古都京都」の存在は忘れられないと思います。

《2016 秋の FAR 会》案内

「2016 日光を巡る旅」へのお誘い

代表幹事 石井 勉

第 44 回日本放射線技術学会秋季学術大会が埼玉県の大宮ソニックシティにて平成 28 年 10 月 13 日（木）～15 日（土）に梁川範幸大会長にて開催されます。例年この秋季学術大会に合わせまして FAR 会の親睦旅行を開催してまいりました。今回も例年のごとく一泊旅行を計画いたしましたのでご紹介申し上げます。

この時期の関東地方は秋の観光シーズン真っ只中で、どこへ行っても人人で大混雑が予想され、道路も渋滞し時間通りの移動が出来ないことも考えられます。などと考えていてはどこへも行けなくなるのでそれならば一番混みそうな所を、ということで日光観光を選択しました。出来る限り移動を押さえて日光周辺をじっくりと回る予定でいます。

日光山内には 2 社 1 寺が点在しており、国宝も多く存在しており神社仏閣を含めてそれらは世界遺産に登録されています。2 社は日光東照宮、二荒山神社をさし、1 寺は日光山輪王寺のことです。昨年は徳川家康 400 回忌、今年は日光山開山 1250 年、徳川家康御鎮座 400 年を迎えます。華麗な事で有名な陽明門は 2013 年から修復中ですが、東西壁面の羽目板を外したところ表れた壁画を一般公開しています。その他東照宮五重塔、唐門、三猿、鳴竜、眠り猫、奥宮御宝塔（御墓所）などの見所が豊富にあります。

行程は 13 時に大宮ソニックシティを出発、一度の休息を入れて日本三大瀑布（和歌山県：那智の滝、茨城県：袋田の滝）の一つ華厳の滝を見物し 17 時頃ホテル到着予定です。次の日は日光市内、東照宮、二荒山神社を観光し、お昼はゆば料理を堪能していただきます。大宮ソニックシティへは、15 時頃の到着を予定しています。

森 克彦先生、橋本廣信先生のご助力を賜り一生懸命努めます。会員各位の多数の参加をよろしくお願いいたします。



日光東照宮五重塔



二荒山神社入口

（筆者撮影）

開催日：平成28年10月15日(土)～10月16日(日) 1泊2日
集合場所：大宮ソニックシティ
出発時間：午後1時
宿泊地：日光温泉「ホテル 春茂登」
栃木県日光市安川町5-13 TEL. 0288-54-1133
会費：会員 25,000 円(会から 5,000 円補助)、非会員 30,000 円
申込締切：平成28年8月31日 同封の申し込み葉書にてお願いします。

《会からのお知らせ》

平成28年度 第1回世話人会議報告

平成28年(2016年)4月16日 横浜市・パシフィコ横浜会議センター会議室にて開催。

山田勝彦会長以下16名が出席し、以下の議題について討議・審議した。

1. 会務報告

会員動向

- ・会員数：99名(2016年3月末現在)
- ・平成27年度中の新入会員数：7名
(江口陽一、真田 茂、水谷 宏、内山幸男、川野 誠、橋田昌弘、堀井 均)
- ・依願退会者：1名(伊藤敏夫)
- ・会費未納による退会者：2名(段床嘉晴、中村幸夫)
- ・死亡退会者：ナシ

2. 事務局報告(業務報告および収支決算書)

3. 平成27年度事業報告

1) 学術大会(春・秋)に合わせた親睦・交流事業の推進

① 第71回総会学術大会時の企画「2015 懇親の夕べ」

平成27年4月18日 横浜市・「利久庵本店」で開催、31名参加(非会員5名を含む)

② 第43回秋季学術大会時の企画「2015 能登を巡る旅」

平成27年10月10日(土)～11日(日)、宿泊地(懇親会会場)：和倉温泉「大観荘」、

参加者：19名+幼児1名(内、会員家族2名+幼児1名)で開催した。

2) 情報誌の発行

第42号を平成27年5月15日、第43号を平成27年9月15日、第44号を平成28年1月15日に夫々発行した。

3) 役員会・正副会長・正副総務委員長会議の開催。

世話人会議を平成27年4月(横浜市)、10月(金沢市)にて開催。

正副会長・正副総務委員長とのメールを用いた文章会議を平成28年2月に開催。

4) その他、広報関係

FAR会ホームページを情報誌発行時および適宜更新するとともに、メーリングリストを通じ情報交換に努めた。

4. 収支決算書報告

5. 平成27年度会計監査報告

6. 平成28年度事業計画(案)の審議

7. 収支予算(案)の審議

8. 情報誌関係：本年度も年3回の発行を行う。

第45号(平成28年5月15日)、第46号(平成28年9月15日)、第47号(平成29年1月15日)に発行する予定である。

尚、従前はA4両面印刷でホッチキス止めでの発行であったが、ホッチキス止めの針の状態によっては、針先端で怪我をする可能性があるので、第45号より総頁数が4の倍数の場合(総頁数12頁、16頁等)、A3両面印刷中綴じ方式で発行する事にする。

但し、総頁数が2の倍数の場合(10頁、14頁等)、従前通りの発行とする。

9. 懇親活動関係

1) 「2015 能登を巡る旅」会計報告

2) 「2016 日光を巡る旅」企画の決定(詳細内容は、情報誌第45号の関連記事参照)

3) 「2017 懇親の夕べ」代表幹事の選任

代表幹事に平野浩志世話人を選任し、開催企画等は第2回世話人会議で決定する事とした。
但し、開催日は第73回総会学術大会の日程より、平成29年4月15日(土)に開催となる。

4) 「2017 懇親旅行」の代表幹事の人選について

第45回秋季学術大会が広島市で開催されるため、宇部市在住の上田世話人が最適と思われるが、上田世話人は学術大会大会長であるため、代表幹事に選任する事が不可でありまた、広島県在住のFAR会会員がほかに居ない事等を勘案し、代表幹事候補は川上壽昭氏を中心に再考する事とした。尚、万一代表幹事に適する者が無い場合は、代表幹事には川上壽昭氏にする事とする。

5) 「2016 懇親の夕べ」の最終確認を行った。

参加者数：36名(会員・会員家族・JSRT事務局：33名、非会員：3名)

10. メール定期便の開設の提案の審議

メーリングリストをより一層活発に活用し、会員相互の情報交換を図る事を目的に、リレー方式による「メール定期便」開設の提案を討論・審議した。

- ・審議の結果、リレー方式で行うのは指名された者が発信する義務が生ずる恐れがあるとの意見が出された。その結果、提案者が例に挙げている様に身近な近況を自由に発信する様に「先ずは隗より始めよ」の例え通り、義務化ではなく気軽に世話人から始めてはどうかの意見に集約された。

11. 山田勝彦会長辞任の件

山田会長より「橋本前会長の後任として平成25年4月より4年間会長を務めさせて頂いたが、本年3月に81歳を迎え、この際会長職を退く。後任の会長には川上副会長を推薦する」との意向が表明された。多くの世話人より会長職を続けて頂き、せめて平成29年度の世話人改選まで会長に留まって頂きたいとの意見が出されたが、辞任の意思が強く、やむなく山田会長の辞任を認めた。

12. 新会長の選任

山田会長の辞任に伴い、全会一致で新会長に川上壽昭氏を選任した。

13. 伊藤敏夫世話人辞任の件

諸般の事情により、世話人を平成28年3月31日で辞任する届が提出され受理した。

14. 会議開催

1) 第2回世話人会議開催予定 日時：平成28年10月13日、場所：大宮ソニックシティ

2) 第1回運営委員会・総務委員会合同委員会

日時：平成28年8月下旬、場所：(未定)

【平成27年度収支決算報告】 平成27年4月1日～平成28年3月31日まで

(収入の部)

(円)

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
前 年 度 繰 越	853,462	853,462	
年 度 会 費	190,000	170,000	85 名分
新 入 会 分		14,000	7 名
寄 付 金	50,000	61,000	真田(10,000 円)、第 71 回総会_実行委員会 (20,000 円)、 前田 (11,000)、堀田 (10,000 円)、前田 (10,000 円)
広 告 料	0	0	
懇 親 会 費	770,000	774,000	2014 年懇親の夕べ(会員 28 名、非会員 1 名)、 2014 登別の名湯とアイヌ文化を巡る旅(会員 21 名)
雑収入(利子等)	20,000	181	利息 (4/1)、利息 (10/1)
預 かり 金 収 入	200,000	136,000	
(次年度以降)		118,000	
合 計	2,083,462	2,126,643	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
情 報 誌 作 成 費	40,000	40,000	41 号、42 号、43 号、44 号
懇 親 会 経 費	950,000	900,524	2015 年懇親の夕べ 3 1 名、写真用 CDR&ケース、写真用 DVD-R、 2015 能登を巡る旅 (19 名)
会 議 費	50,000	53,100	第 1 回世話人会弁当代 (18 名)、第 2 回世話人会弁当代 (19 名)、
運 営 旅 費	100,000	0	
通 信 郵 送 費	70,000	56,675	メーリングリスト年会費、はがき (71 枚)、切手 (2 円、9 枚)、 角 2 封筒(100 枚)、42 号送料 (91 通)、角 2 封筒 (100 枚)、43 号送料、 切手代 (120 円 20 枚)、角 2 封筒(100 枚)、はがき (95 枚)、44 号送料
事 務 用 品 費	20,000	3,000	情報誌 42 号用紙、情報誌 43 号用紙、情報誌 44 号用紙
新 規 事 業 費	10,000	0	
雑 費	5,000	0	
(払込手数料等)		1,730	会費振込手数料
次 年 度 繰 越 金	638,462	817,614	
預 かり 金 支 出	200,000	136,000	前年度受取
(次年度以降分)		118,000	今年度受取

合	計	2,083,462	2,126,643	
---	---	-----------	-----------	--

【平成 27 年度会計監査報告】

FAR 会

会長 山田 勝彦 殿

平成 27 年度（2015）会計監査報告

- 1、平成 27 年度収支決算書
- 2、平成 27 年度事業報告
- 3、郵便貯金通帳・振替口座引き落とし証明表
- 4、現金出納簿および領収書
- 5、郵便貯金総合通帳
- 6、FAR 会 会費納入台帳
- 7、平成 28 年度収支予算（案）

平成 28 年 3 月末日までに送付された上記資料のコピーに基づき会計監査を行い、適正に処理されていることを確認したので報告いたします。

平成 28 年 4 月 16 日

FAR 会 会計監査

山田 和美



【平成 28 年度事業計画】

1. 学術大会(春・秋)に合わせて親睦・交流事業推進
 - 1) 第 72 回総会学術大会時に「2016 懇親の夕べ」を開催する。
日時：4 月 16 日(土)、開催場所：横浜市「聘珍楼」代表幹事：前田幸一
会費：9 千円(会員)、1 万円(非会員)
 - 2) 第 44 回秋季学術大会時に「2016 日光を巡る旅」を開催する。
日時：平成 28 年 10 月 15 日(土)・16 日(日)（一泊二日の予定）
（具体的企画内容は平成 28 年第 1 回世話人会議で決定予定）
参加費：25,000 円(会員)、30,000 円(非会員)
申込み方法：情報誌第 45 号同封葉書、申込締め切り：平成 28 年 8 月末日必着
2. 情報誌第 45 号(平成 28 年 5 月 15 日)、第 46 号(平成 28 年 9 月 15 日)、
第 47 号(平成 29 年 1 月 15 日)の発行。
3. 平成 29 年度からの世話人の人選の件
4. 会員相互に共通する情報交換を JSRT と連動したホームページならびにメーリングリストを用いての活動を推進するとともに、新会員の加入に努める。
5. 世話人会議・運営委員会の開催
 - 1) 世話人会議を平成 28 年 4 月(横浜市)、平成 28 年 10 月(さいたま市)で開催。
 - 2) 運営委員会を平成 28 年 8 月(関東地区)、平成 29 年 1 月(京都市)で開催予定。

【平成 28 年度収支予算書】平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

収入の部 (円)

科 目	予 算 額	備 考
前 年 度 繰 越	817,614	

年 度 会 費	180,000	名誉会員 6 名を除く 90 名を見込
新 入 会 分	10,000	5 名
寄 付 金	50,000	前年並を見込む
広 告 料	0	
懇 親 会 費	934,000	懇親会の夕べ (31 人、@9,000 円、3 人×10,000) 日光への旅 (25 名、@25,000 円)
雑収入 (利子等)	20,000	利子等
合 計	2,011,614	

支出の部

科 目	予 算 額	備 考
情 報 誌 作 成 費	40,000	情報誌 45 号～48 号, 編集諸掛
懇 親 会 経 費	1,090,000	懇親会の夕べ 34 人、@10,000 円、 日光への旅 25 名、@30,000 円、雑費 50,000 円
会 議 費	60,000	前年度並み
運 営 旅 費	100,000	運営・総務合同委員会
通 信 郵 送 費	70,000	情報誌郵送費他
事 務 用 品 費	20,000	情報誌等のコピー用紙他
新 規 事 業 費	10,000	
雑 費	5,000	
(払込手数料等)		振込手数料
次 年 度 繰 越	616,614	
合 計	2,011,614	

《会員動向》

- ・会 員 数 (平成 28 年 4 月 20 日現在) : 100 名
- ・新入会員 (平成 28 年 4 月 1 日以降) : 1 名

松原 馨 (東京都狛江市、平成 28 年 4 月 19 日付け)

《新入会員紹介》

(「写真」ならびに、「近況」「趣味」の記述内容は入会申込書に記載されたものです。)

- ・松原 馨 (東京都狛江市)



近況 : 2013 年 3 月に東京慈恵会医科大学附属第三病院を定年退職し、4 月より朝日新聞東京本社診療所で診療放射線技師として勤務しております。
毎朝、人気 spot の築地市場&場外市場を散歩しつつリフレッシュしながら通勤し、昼食や after5 でも築地ライフを謳歌しております。

趣味 : ・カメラ、写真。

- ・地元のお酒、名物を堪能しながらの旅 (国内&海外)
- ・御朱印を集めながらの寺巡り
- ・映画、DVD 鑑賞

《JSRT 情報》

- 1) 『第 44 回秋季学術大会』大会テーマ：放射線技術を極める

—Be Creative, And Be Challenging—

大会長：梁川 範幸（東千葉メディカルセンター）

会 期：平成 28 年 10 月 13 日（木）～15 日（土）

会 場：大宮ソニックシティー（さいたま市）

- 2) 『第 73 回総会学術大会』大会テーマ：極めよう放射線医学、広げよう放射線診療

To the Summit of Radiology, to the Horizon of Radiology

大会長：宮地 利明（金沢大学医薬保健研究域保健学系）

会 期：平成 29 年 4 月 13 日（木）～16 日（日）

会 場：パシフィコ横浜会議センター他

《連 載》ご当地自慢

「ご当地自慢（と言いながら自分自慢や我が家自慢も）」

宇部市 上田克彦

原稿依頼のお題であるご当地自慢の前に、まず自分自慢をさせていただきます。現在（H27, 28 年度）の理事会に克彦が 3 名いるということです。普段、そう気にしておりませんでしたが、今年の理事会新年会にて克彦の一人である北海道大学の小笠原先生が、「ここに克彦が 3 人揃いましたね、一緒に写真を取りましょう。」と提案されました。私と小笠原先生とそしてもう 1 名は、この原稿依頼元でもあります森克彦先生です。私は 57 歳ですが、それぞれ世代は異なっている「克彦」という名前をつけてもらっています。両親がこの名前をつけてくれたことに感謝しています。

どうぞ写真 1 の、
にこやかな笑顔を御
覧ください。



写真 1 平成 28 年理事会新年会の 3 克彦の笑顔
（向かって、左「森」、中央「小笠原」、右「上田」）

さて、本題に戻り地元の自慢を考える上で、自己紹介をしておかなくてはなりません。私の生まれは、山口県宇部市であります。宇部市新天町という商店街で産湯に浸かり、実家はカメラ屋（FAR 会 36 号 p8-9 のコラム「心に残る写真機」をご覧ください。）、隣はキャバレー、前はスナックといったところで、田舎なのに畑も田んぼも縁遠い下町で育ちました。私が小学生であった 50 年くらい前は日本中が高度成長期の真っ只中であつたように、宇部市もとても活気がありました。港には海外から貨物船がたくさん来ており、夜の

街にも「外国」人の船員さんが酔っ払って闊歩していました。実家のカメラ屋は、夜10時くらいまでは店を開けていたので、この酔っぱらいの外国人船員さんも来店する訳です。子供ながら日本人とは違う顔立ち、違う言葉、大きな声（酔っぱらいなので）をととても恐ろしく感じていました。ですので、我が家では、父母に叱られる時は「外国の船員さんに連れってもらおうよ！」もしくは、「暗室に閉じ込めるよ」の2つが子供たち（4人兄弟）がおとなしくなる決め台詞でした。ただし、「暗室に・・・」は何度も実行されました。

当時の我が家を写真2、写真3に示します。当時はこの借家であったボロ屋がとても嫌で、隣がキャバレーというのも恥ずかしかったのですが、今では、ちょっとした自慢に変わっています。全く関わりのなかった宇部出身の方にお会いする場面があっても「新天町のキャバレーの隣のカメラ屋」のキーワードで、「あー」とか「おー」とか思い出していただいて、とても嬉しく思っています。



写真2 昭和30年代の実家「ウエダカメラ」



写真3 昭和40年頃の「ウエダカメラ」

全くご当地自慢のテーマからはずれておりますので、そろそろ、山口のカテゴリーで自慢をと、思いつくものを列挙しました。ただし、あまり真剣に読まないでくださいね。

それでは、上田が勝手に選んだご当地自慢ベスト5を紹介します。

- 1) 産官学が協力して公害対策を行った。これを「宇部方式」と言われる。

小学校ではこの宇部方式による公害対策は世界で初めてと習っていたと思います。おそらく産官学の一体となった対応が世界で初めてだったのかもしれませんが。「ばいじん」世界一から生まれ変わったそうです。これらのことは、宇部市が作成した副読本「わたしたちの宇部」という本で何度も教わった記憶があります。確かに母は洗濯物を外には干せなかったと言っておりました。

- 2) 宇部かまぼこ

贈答品としては、そう有名はありませんが、プリプリ感がたまりません。30年くらい前になるで

しょうか、四宮先生が故大塚先生に小田原のかまぼこを持って来られたことがありました。

その時の大塚先生の一言が「かまぼこの名産地にかまぼこを持ってきてどうするの」でした。その後、四宮先生とかまぼこの名産地は「小田原だ」、「宇部だ」と両先生譲らずに討論していました。どちらも美味しいことは確かです。

3) 日本一小さい火山 萩市笠山

小さいので火口まですぐに行けます。しかし、WEB で調べると活火山とありました。行ってみるとそういった気配はありません。火山そのものを見るよりも、周辺の景色をお楽しみください。途中に売っているイカの一晩干しも美味しい、地ビールも美味しいですよ。ただし、一晩干しは想像以上に腹いっぱいになるので、旅館やホテルに入る前に食べるのは要注意です。5~6 人で分けて一口だけ食べることをお勧めします。

4) 大洋ホエールズ

大洋ホエールズは、現在の、横浜 DeNA ベイスターズであることは FAR 会の皆様はよくご存知かと思いますが、もともと下関の大洋漁業社会人野球球団であったことをご存知でしょうか。いわゆるマルハソーセージの大洋です。

横浜ベイスターズは平成 10 年に日本一になりましたが、その時には下関でも優勝パレードが行われたんですよ。ただし、選手は 2 名くらいだったように思いますが・・・。

実は、昭和 35 年にも大洋ホエールズは日本一になっていますが、そう強い球団であった印象はありません。下関出身の父が大の大洋ホエールズファンで、私も何度か下関球場に連れて行ってもらいました。父は大洋ホエールズが弱いのは、負けてもソーセージを一杯食べられるから、やる気がないのだと言っておりましたが、その当時は「ふーん、そうなんだ」と思っていました。

大洋ホエールズについて当時憶えている事件があります。その頃の大洋のサードで四番打者であった桑田選手は新人ながら本塁打王となった強打者でした。当時の小学生の男の子は誰もが、ファンである球団の野球帽をかぶり、横にお気に入りの選手の背番号をつけてもらっていました。私は当然、桑田選手の番号 8 をつけていました。その桑田選手がある日突然、巨人軍へ引き抜かれる事になったのです。当時の巨人のサードで四番打者というあの長嶋選手です。なんで、あんなところに、と子供ながら巨人を恨み続けておりました。当然のようにその後、桑田選手の名前を聞くことはありませんでした。

しかし、WEB でその事件の詳細を見ると別に巨人が悪いわけではない事を最近知りました。しかし、桑田選手以降にも大洋の四番打者は巨人への移籍を続けました。例えば、松原選手、シピン選手（通称ライオン丸）などです。最近では村田選手です。なので、まだちょっとは恨みがあります。

以前は時折、総会学術大会の時、隠れベイスターズファンの皆さんと横浜球場へナイター応援に行っておりましたが、最近は夜のスケジュールも一杯になり、脚が遠のいています。ファンの方がおられましたら、是非声をかけてください。

5) 人口に対するスナックの数が日本一（だった）？

これは、いわゆる都市伝説であり、確認はとれていません。熊本大学の橋田技師長が山口大学におられるとき、飲み屋街を歩くとよく言われていました。

以上、ご当地自慢ともなんとも言えない内容で、普段飲み会のように言っているような内容をダラダラと記載して失礼しました。6 位以下をお聞きになりたい方は是非一緒に飲みに行きましょう。

最後になりますが、ここからは真面目にお知らせいたします。

来年、平成 29 年 10 月 19 日から 21 日広島国際会議場にて第 45 回秋季学術大会を開催させていただきます。不肖私が大会長を務めさせていただきます。また、実行委員長は広島大学の隅田博臣先生です。私と隅田先生の恩師である大塚昭義先生、砂屋敷忠先生ともに天国から見守って頂いているかと思います。精一杯準備運営する所存ですが、どうぞ、FAR 会の先生からもご指導、ご鞭撻いただけましたら幸いです。皆様広島でお待ちしております。今後ともよろしくお願いいたします。 以上

《編集の小窓》

昨年、10月の秋季学術大会(金沢市)から帰郷して来年春に咲く花の種を蒔いて、皆様にご紹介しようと数種類の品種から、ラナンキュラスの種を選び10月13日に6号鉢に植え込みました。秋蒔きと言うこともあってか、11月になってもなかなか芽を出さないで多少心配ではありましたが、12月に入るとようやく芽を吹き、2月に入って7~8センチ程に成長して蕾も小さいながらつけて、赤・黄、2色の花が咲くとの自信が出てきました。4月に入ると写真(4月5日撮影)のように2色の大輪をつけ、6ヶ月ほどの育成による成果を喜びました。

《ラナンキュラス 名前の由来》

ラテン語の「カエル」を意味する「ラナ」が冠されていますが、もともとは湿地を好む性質の球根植物で、カエルが生息するような場所に生えていること、また、葉がカエルの足型に似ていることからともいわれています。

《ラナンキュラス 花言葉の由来》

「晴れやかな魅力」「光輝を放つ」「あなたは魅力に満ちている」・・・光沢のある花びらが幾重にも重なって花開く様子が、輝かしいものに見えるのでしょうか。

「魅力ある金持ち」・・・花びらの多さを「富裕」「豊かさ」に由来するからでしょうか。

《ラナンキュラス 別名・和名》

「花金鳳花 (はなきんぼうげ)」”色彩の華やかな金鳳花”

《ラナンキュラス 属性・原産地》

キンポウゲ科 キンポウゲ属、球根植物

原産地 中近東からヨーロッパ東南部

草丈 25~60センチ

花期 4~5月

花色 赤、オレンジ、ピンク、白、黄色、絞り、緑、ベージュなどがあるようです。

森 克彦・記



FAR 情報誌 No.45 (非売品)

発行日 平成28年5月15日

発行者 山田勝彦

編集委員会 森 克彦 (委員長)

石井 勉 橋本廣信

山田和美

森：連絡先 Tel&Fax. 049-225-2619

Email: mokamokawh@gmail.com

《お知らせ》

1. 「2016 懇親の夕べ」報告は、都合により次号(第46号)に掲載します。
2. FAR 会情報誌は、平成28年度よりA3中綴じ冊子作製が、第1回世話人会にて了承されましたが、年度内・情報誌(第45号~47号)では、移行期のためA4及びA3綴じ冊子が混在することもありますのでご理解ご了承をお願い致します。なお、詳細に就きましたは、《会からのお知らせ》の8. 情報誌関係をご覧ください。